

コロナ禍学食が危機

運営会社「調理人雇えない」

新型コロナウイルスの影響でキャンパスに
来る学生が激減し、若
者の胃袋を満たしてき
た大学食堂が存続の危
機に陥っています。安
くてボリュームがある
名物メニューを守るた
め支援を募る店がある
一方、運営会社が「調
理人も雇えない」と撤
退を決め、学食を閉め
た大学も出始めていま
す。

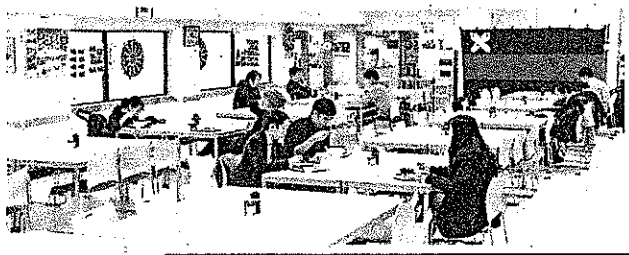
慶応大学三田キャン
パス(東京都港区)に
ある1937年創業の
学食「山食」。カレー
や「若き血みそラーメ
ン」など名物メニュー
が並ぶ中、学生や教職
員らでにぎわう光景は
見られなくなりまし
た。

約160席あった客
席は約50席に減らしま
したが、昼休みも埋ま
りません。ゼミや卒業
生らによるパーティー
も3月からゼロ。8月
に銀行から借り入れた
500万円は、日々の
支払いなどで10月末に
底を突きました。

山食の谷村忠雄社長
(81)は慶大側と相談
し、クラウドファンデ
ィングを12月に開始。
「ここでお手上げにな
ったら先代や卒業生に
申し訳ない。今後も変
わらない山食を続けた
い」。経済学部の中村
啓太郎さん(21)は「値
段やボリュームなど、
学生のことを第一に考
えてくれる学食がなく
なるのは困る」と話し
ました。

筑波大学(茨城県つ
くば市)の一角にあっ
た「第三学群食堂」は
7月末に閉店。運営会
社は4月に大学側へ提
出した文書で、「1日
の売り上げ9000
円」「調理人1人も賄
えない状態」と窮状を
訴えていました。東北
大学(仙台市)や横浜
国立大学(横浜市)、都
内の複数私大でも委託
先の撤退で一部の食堂
が閉店しました。

各地の生活協同組合
(生協)も苦境に立た



利用者が少ない慶応
大の学生食堂。16日
午後、東京都港区

されています。京都大
学生協は、運営する食
堂の利用者が6割減る
などし、今年度は全体
で3億円の赤字の見込
み。組合員に食堂利用
や出資金の増額を呼び
掛けており、松浦順三
常務理事(56)は「か
なり苦しいが、大学の
福利厚生を担う生協と
して何とか事業を続け
たい」と語りました。